

「学術大会 事前抄録」の執筆要領

《体裁》

(1) 文字数

- ・抄録本文全角 1000 文字 *COI 開示および倫理審査委員会承認番号含む
- ・文字数は全角文字・半角英数字・記号を問わず、テキストで入力された場合には 1 文字とカウントされます。

(2) 文字入力

- ・B (太字) と U (アンダーライン) のタブはタイトルに反映されませんので、使用しないでください。
- ・句読点はコンマ「,」 マル「。」を使用してください。

《原稿記載様式》

(1) 文体は常体 (である調) でまとめてください。

(2) 抄録本文は、下記の順に項目を付け記載。

[研究]・[調査] の発表 :【目的】【方法】【結果と考察】

[症例報告] の発表 :【目的】【症例の概要と処置】【結果と考察】

各項目は【〇〇】で表記し、その後改行してください。改行後は、1 字下げたから次の文章を入力してください。

(3) 図表の掲載はできません。

(4) 文献、研究協力者、協力施設等への謝辞は文字数の範囲内で記載ください。

(5) 用語は「日本老年歯科医学会編 老年歯科医学用語辞典第 2 版 (医歯薬出版、2016)」を参考にしてください。

《COI 開示》

利益相反の有無にかかわらず、抄録の末尾に申告すべき COI 状態を記載してください。

例 : (COI 開示 : なし) (COI 開示 : 老年株式会社)

《ヒトを対象とする医学系研究について》

抄録の末尾に所属機関等の倫理委員会 (倫理審査委員会) の承認番号を記載してください。倫理審査対象外の場合はその旨を明記してください。

なお、本来ならば倫理審査委員会の承認が必要であるにも関わらず、倫理審査委員会の承認を得ていない場合は、演題を不採択とする場合があります。

例 : (〇〇大学 倫理審査委員会承認番号 9999-22) または (倫理審査対象外)

《症例報告における患者本人 (もしくは代諾者) の同意について》

症例報告は、抄録内に患者本人 (もしくは代諾者) の同意を明記してください。

《文字カウント》

抄録本文に記入した文字数は、画面最下部の「Next (確認画面)」をクリックしたときにチェックされません。文字数がオーバーしたときにはエラーが表示されます。

入力した文字数は下記の【文字数カウントツール】よりご確認くださいませ。

[【文字数カウントツール】](#)

【認定医審査ポスター（症例報告）】＊抄録およびポスター作成要領

タイトル

○老年 花子 山田 太郎 ←筆頭発表者が申請者、共同発表者が指導医

老年歯科大学大学院 医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野

【緒言】

なぜこの症例を選択したのか、過去の報告を適宜引用しながら記載する。

必要があれば、患者の有する障害や疾患についての詳細、歯科治療に関連した事項について適宜引用しながら説明する。

われわれは、・・・・・・・・・・・・・・・・の一例を経験したので報告する。

【症例】

XX 歳，性別。・・・・を主訴に来院した。

- ・既往歴
- ・本報告に関連した疾患の現病歴
- ・歯科的現病歴
- ・現症，口腔内所見
- ・必要があれば血液データ，画像データ等を掲載する。

なお，本報告の発表について患者本人（もしくは代諾者）から文書による同意を得ている。

【経過】

時系列に沿って記載していく。

どのような点に注意したのか読者が理解できるようにはっきり分かるように記載する。

画像データなど読者が理解しやすくなるものを掲載する。

【考察】

本症例の特徴や注意した点を，過去の報告を適宜引用しながら記載する。

このような症例に対応するためにどのようなことに気をつけなければならないのか，過去の報告を適宜引用しながら記載する。

新規性があれば記載する。

(COI 開示：老年株式会社，その他 2 社) または (COI 開示：なし)

(〇〇大学 倫理審査委員会承認番号 9999-22) または (倫理審査対象外)